

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-1142										
施設名	仲町にここ保育園										
施設所在地	小平市仲町351-38										
法人名	社会福祉法人 豊仁会										
活動期間	令和	7	年	4	月	から	令和	8	年	3	月
活動内容の公表	<input checked="" type="checkbox"/>	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。									
		公表したホームページ等のURL					https://nakamachi-nikoniko.com/download.php				

2. 活動報告（注1）

番号	1					
テーマ	感触あそび					
実施回数・期間 （注2）	7回					
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
	6人	人	人	人	人	人
活動内容 （注3）	砂や水、雪などの自然物に触れ感触や温度の違いを感じたりミカン狩りで本物のミカンに触って皮の感触や重さを感じながら楽しむ。雪は予定にはなかったが降ったので急遽取り入れた。設定するものだけでなく0歳児クラスなので普段の遊びで使える玩具を用意した。布絵本や質の違うハンカチ等いつも置いておいていつでも触って遊べるようにした。					
活動における チェックリスト	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。					
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 「一緒に」「同じ」「交換」を伝えながら友だちのやっている事を見せるようにした。はじめてのことに躊躇する子もいたので保育者が仲立ちとなるようにした。					
	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。					
	※記録をどのように行ったか 写真を撮影した。					
	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。					
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 「ザラザラ」「ヒエヒエ～冷たい」と耳に入りやすい言葉かけを一緒に楽しむことで興味をひいた。					
	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。					
	※振り返りの実施方法 その場限りで終わりにせず壁に貼ったり手の届く所に置いたりして子ども達自身が好きな時に触れるようにした。					
	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。					
	※教諭や保護者等への共有方法 玄関表示をした。					
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。						
※継続的な実施のための工夫 布玩具は常時手の届く所に置いておく						

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。